

## 第 2 回 PET 核医学ワークショップ

### 司会の言葉

小 西 淳 二 (京都大学医学部核医学科)

井 戸 達 雄 (東北大学サイクロترون RI センター)

PET 核医学ワーキンググループでは昨年に引き続き、「PET 核医学ワークショップ」を日本アイソトープ協会サイクロترون核医学利用専門委員会との共催で開催いたします。このワーキンググループは一昨年に設置された PET 核医学委員会から移行したのですが、その目的は PET に関連した核医学の振興と PET の臨床応用の推進にあります。具体的には、① PET 施設間の情報交換と技術交流、② PET サマーセミナー等の関連研究会との連携、③ PET 検査プロトコルの検討、④ 多施設共同研究の推進、⑤ 保険適用の拡大などを検討課題としています。

昨年は  $^{18}\text{F}$  ガスを用いる PET 検査の保険適用が実現した画期的な年でした。本ワークショップでは、その後の 1 年間の歩みを振り返るとともに、今後の課題を会員の皆様とともに討議したいと思います。

まず最初に  $^{18}\text{F}$  ガス剤による PET 検査の状況について、全国調査の結果を桑原先生にお話していただきます。

続いて、多施設共同研究で心臓の PET 検査における標準プロトコルの検討を行っている「心臓 PET 勉強会」の成果を飯田先生から報告していただきます。

最後に、臨床 PET 検査の普及に向けての日本アイソトープ協会の活動状況を小西が報告いたします。

このワークショップの目的は PET 施設間の情報交換に止まらず、これから PET を導入しようと考えておられる方々にも役立つ、実質的な情報を提供することにあります。多くの会員のご参加により、実りあるワークショップとなることを願っています。